

施策2-1-4 教育環境の整備・支援

担当課 教育総務課

施策が実現できたときの状態について、平成25年度での到達状況

【概ね達成した】

- ・ 経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し就学援助費を支給することにより、また、特別支援学級の適切な運営及びLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）等の発達障がいのある児童生徒への適切な支援を通じて、全ての児童生徒が安心して学ぶことができたと考えています。
- ・ 学校施設の補修等により、児童生徒が安全な学校施設で安心して学ぶことができました。また、教育用コンピュータの計画的更新、学校図書館図書整備が促進されたことにより、児童生徒の教育環境が向上したと考えています。
- ・ 私立幼稚園就園児童の保護者に対し所得状況に応じた助成を行うことにより、保護者の経済的負担が軽減され、また、公立と私立幼稚園の保護者負担の格差が調整され、就学前教育の振興が図られたと考えています。

3ヵ年方針のうち、平成25年度の重点課題の達成(実現)状況

【概ね達成した】

- ・ 学校施設の老朽化等に伴う維持修繕について、安全性や緊急性等を考慮しながら実施しました。
- ・ コンピュータの更新整備を図るなど学校ICT環境の整備を図りました。
- ・ 児童数の増加等に伴い学級増が見込まれる学校について、分離新設準備、該当校の施設整備を計画的に進めました。

施策目標の達成(実現)に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

【概ね達成した】

- ・ 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費については、事業を継続実施し児童生徒が安心して教育を受けることができました。
- ・ 就学助成事業（遠距離通学費等）を継続実施し、保護者の負担を軽減しました。
- ・ 学校施設の老朽化等に伴う維持修繕について、安全性や緊急性等を考慮しながら実施しました。
- ・ コンピュータの更新整備を行うなど、学校ICT環境の整備を図りました。
- ・ 児童生徒数の減少が見込まれる姥屋敷小中学校の今後の在り方について地区住民と懇談会を実施し意向等を確認しました。
- ・ 児童数の増加等に伴い学級増が見込まれる学校について、分離新設準備、該当校の施設整備を計画的に進めました。

施策目標値の達成状況

